

りんごのもり

林檎の森

11
2017
vol.424



特集 1

煌く若手後継者

特集 2

「黒星病」の病原菌と向き合う



溝江 友貴 (36歳)

24歳から本格的にリンゴ生産の道へ。同年代の仲間たちと飛馬ブランドに磨きを掛けるのが最高に楽しい。

相馬地区の若い世代が一丸となって農業を盛り上げていることはとても誇りに思うよ。どこにも負けない団結力と仲の良さがそこにはあるからね。ともに頑張る仲間達と意見を交わすことで、より深い絆が生まれることから「飲みにケーション」は私たち若手にとって必要不可欠さ。「良い話も2次会から」というくらい大事だ。

なにが言いたいかって？ 農業は最高ってことだよ！大切な家族や仲間の時間が素晴らしい程に手に入る。農業を通して楽しい行事にも参加できる機会が多く、しっかり仕事さえすれば時間は自由自在なのだから。そして、頑張れば頑張った分、評価として表れ、お金とともに実感を掴むことが出来るのも魅力だ！



農業っていいよね！

あなたも始めませんか？



三浦 剛 (28歳)

私が目指す道。それは父を超えるリンゴ生産者だと24歳の時に気付く。「父の力になりたい」という思いが一つのきっかけだ。そして、もう一つ。それは楽しそうにリンゴ栽培に取り組む、同級生らの笑顔だった。若手のみんなが一丸となって、楽しそうにリンゴ作りをしている。自分も早く輪に混ざりたい。そんな想いから自然とヤル気が沸いたことを嬉しく感じる。同級生のみならず先輩方にも恵まれ、自分では分からないことを教えてくれる沢山の人が周りにいることは本当に幸せだ。また、高品質リンゴ生産に挑む中で直面する病害虫については、勉強をすることで自分の知識として役立つことから、学ぶことが非常に楽しいと感じる今日この頃。「やればなんとかなる。」強い信念をもって君もリンゴづくりを始めよう！





佐久間 康幸 (38歳)

神奈川県出身で、農業は未知の世界だった私。大学時代に妻との出会いがきっかけでリンゴもぎを手伝い、岩木山を眺めながらリンゴを丸かじりするのが最高だった。あの日のことは今でも鮮明に覚えている。自然に触れ合う楽しさは格別だ。

やがて、25歳の時に本格的にリンゴの道を歩むことを決意。それは、自然との共存。リンゴは生き物であり、毎年自分自身の栽培管理に課題ができるものの改善することで高品質生産に結び付くことから、やりがいであり生きがいである。後継者の第一線を走る我々にとって、農業を始める方々に伝えたい。明るい農業に飛び込むなら、今すぐに走り出せ！そして、とにかく続けなさい。右も左も分からなくても、俺たちがいる！ともに頑張ろう！



煌く若手後継者

福島 秀幸 (31歳)

26歳の頃から、この道に足を踏み入れた。相馬地区に移住してから、若手後継者が集う青年部に揉まれ現在に至る。相馬の人は本当に温かい人ばかりで、飲み会などを通していつも皆で集まり意見交換をしている。沢山の方々と接し、人を憶え、リンゴ栽培での失敗も話し合いながらプラスに繋げていく環境は最高の場である。困ったときに頼れるJAがあることは基より、青年部や基幹青年の仲間たちが心の支えである。

リンゴは手を掛ければ掛けるほど結果として目に見える。赤く輝くリンゴが美しい。それは、努力の結晶。良い出来秋を迎えられた実感が心の底から湧き上がる喜びは格別だ。農業を始める君に云いたい。「振り返るな！行くしかねえ！」



原菌と向き合う

況と密度低下への課題とは



昨年、津軽地域で多発した「黒星病」。数多くのリンゴ生産者を悩ませたのは言うまでもないだろう。

高品質リンゴ生産に向けて、黒星病のみならず主要病害と向き合うことは我々にとつて避けては通れない道である。全ては、安心安全で美味しい青森県産リンゴを全国のお客様に届けるとともに、農業所

飛散は降雨で引き起こされる

本年も感染に好適条件だった

表 1

調査月日	調査場所	品種	発病率率 (%)		発病率率 (%)
			果そう実	新梢実	
5月23日	浪岡古内	ふじ	0	0	
	浪岡古内	王林	0	0.3	
	浪岡樽沢1 (高密度)	ふじ	2.2	0	
	浪岡樽沢2	ふじ	2.6	4.4	
	浪岡樽沢2	王林	6.0	10.4	
	五所川原市前田野目	ふじ	1.7	0.3	
	五所川原市前田野目	王林	1.7	0.9	
	つがる市柏上古川	ふじ	0	0	
	つがる市柏上古川	王林	0	0.3	
	つがる市森田	ふじ	0	0.3	
5月26日	つがる市森田	王林	0	0.3	
	弘前市小友	ふじ	0	0	
	弘前市小友	王林	0	0	
	板柳町横沢	ふじ	2.0	0.3	
	板柳町横沢	王林	2.4	0.7	
	五所川原市高野	ふじ	2.8	0.3	
	五所川原市高野	王林	2.3	1.2	
	五所川原市羽野木沢	ふじ	0	0.3	
	五所川原市羽野木沢2	ふじ	0	0	
	板柳町五幾形	ふじ	6.7	0.3	
5月31日	板柳町五幾形	王林	2.0	1.9	
	弘前市大川1	ふじ	4.8	1.4	
	弘前市大川1	王林	5.4	6.5	
	弘前市大川2	ふじ	0.5	0.6	
	弘前市種市1	ふじ	43.5	7.5	
	弘前市種市1	王林	6.3	3.1	
	藤崎町真那板	ふじ	1.0	4.2	
	藤崎町真那板	王林	0.9	0.5	
	大鰐町三ツ目内	ふじ	3.4	1.2	
	平川市遠手沢	ふじ	3.4	0.9	
6月6日	平川市尾上南野	ふじ	15.0	5.4	
	平川市尾上八幡崎	ふじ	3.5	2.8	
	藤崎町中野目	ふじ	0	1.0	
	弘前市自由ヶ丘	ふじ	0.4	0.8	
	弘前市相馬	ふじ	13.6	3.8	
	藤崎町葛野	王林	4.3	4.9	
	弘前市下湯口	ふじ		0.2	0
	鶴田町木筒	ふじ		0.3	0
	青森市浪岡五本松	王林		3.0	0
	平川市唐竹	ふじ	0.5	1.4	0.3
6月13日	大鰐町長峰	ふじ	0	0.2	1.0
	大鰐町森山	ふじ	0	6.5	2.3
	弘前市大沢	ふじ	0.5	2.0	0
	藤崎町藤崎白子	ふじ	0	1.7	0
	弘前市大川3	ふじ	23.6	7.0	5.0
	弘前市種市2	ふじ	0.9	0.4	0.3
	青森市浪岡下石川	ふじ	1.9	0.6	0
	青森市浪岡古野田	ふじ		5.4	0.7
	弘前市糠坪	ふじ		0.9	0.7
	弘前市糠坪	王林		0.9	0.7

気温と降水量

春先の気象条件は感染に好適であつた

4月～6月までの初期防除期間における気象をみると、気温は6月上旬が低く、それ以外は平年並みくやや高めであつた。また、降水量については5月が少なく、4月中下旬と6月上旬は連続した降雨に見舞われた。

こうした中で、黒星病の発生は通年殺菌剤無散布の県予察圃において昨年と同様に推移し、7月上旬の最終調査時点で52.3%に達したことから、前年の49.9%を上回る高い発病率となった。このことから、本年も感染に好適であつたといえる。

※子のう胞とは：主に、越冬した落葉上の胞子をいう。リンゴの発芽期頃以降降雨に逢うと子のう殻から自噴し、稚葉や幼果に感染する。

「黒星病」の病

本年の発生状況



感染源と飛散状況

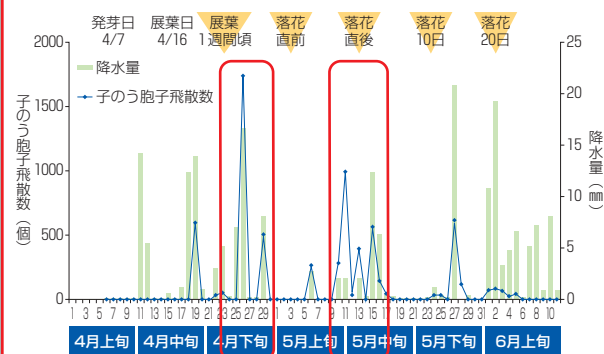
孢子的飛散ピークは4月下旬

黒星病は、主として春先に被害落葉から飛散する子のう孢子が感染源となり、降雨によって引き起こされる。その飛散消長については、りんご研究所で本年度導入した子のう孢子採集機で調査した結果、本年の場合は4月13日に初飛散が確認され、6月6日に終息したことが分かった。また、飛散ピークについては4月26日だったことが伺える。(図1)

今年は黒星病の菌密度が高かった

図1 子のう孢子飛散消長

葉上病斑初発5月11日(平年5月15日)



た

県予察圃において、初発は5月11日に確認され、6月5日頃から急増していた。感染から発病までに10日〜2週間要することを考慮すると、子のう孢子の一次感染時期は主として展葉1週間頃の4月下旬と落花直後の5月中旬の飛散ピーク時と合致している。

また、板柳町高増や弘前市独狐にある生育観測圃の子のう孢子採取機では、それぞれ1,269、5,297個とりんご研究所と同等かそれ以上多く飛散していることから、慣行散布を行なってきた

現地の発生状況

昨年と比較して、黒星病の発生割合の結果は

りんご研究所は津軽地方37園地において、5月下旬〜6月にかけて黒星病の発生状況を調査した。

「ふじ」と「王林」を対象に発病状況を調査した結果、本年は発病率が3%未満の園地がほとんどであり、昨年に比べて10%以上の多発園は減少していた。また、発生した多くの園地では、果そう

生産現場においても菌密度がかなり高かったと考えられる。(表1)

図2 黒星病発生程度別園地数

(5〜6月調査)

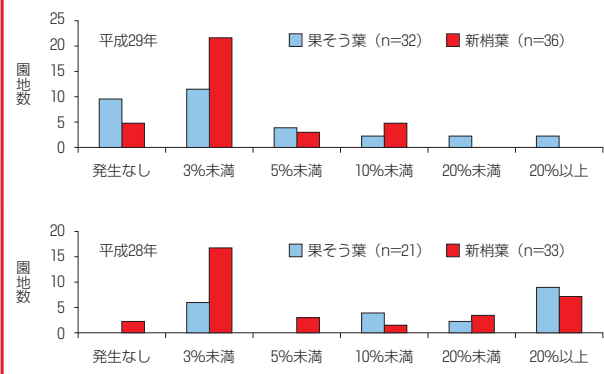


表2 新防除体系と旧防除体系における黒星病の発生状況

試験区	芽出し 当時	展葉 1週間後	開花 直前	落花 直後	落花 10日後	落花 15日後	落花 20日後	6月中旬
新	—	ベフラン	フルーツ セイバー	エニックス チオノック	ジマン ダイゼン	—	チオノック	アトラコル
旧	—	ベフラン	オルバー	アスバイア	—	フロード	—	アトラコル
無散布	—	—	—	—	—	—	—	—

試験区	果そう葉				新梢葉				果実	
	調査葉数	発病率 (%)	発病度	防除値	調査葉数	発病率 (%)	発病度	防除値	調査果数	発病率 (%)
新防除体系 (C4)	238	8.0	2.7	86	500	3.8	1.3	94	300	0.0
旧防除体系 (C3-2)	224	16.1	5.4	72	516	28.1	10.0	53	300	6.7
無散布 (C1)	214	54.2	19.3		483	47.8	21.3		300	92.7

葉と新梢葉の基部葉に発病がみられた。(図2)

新防除体系は有効

—新防除体系と旧(E・B・I剤)防除体系を比較—

長年に渡り、黒星病の特効薬として使用してきたE・B・I剤は、感受性低下に伴い、29年産防除暦から削除された。りんご研究所ではE・B・I剤について本当に効果が低下したのか新防除体系と旧防除体系を比較している。(表2)

無散布区の発病率が果そう葉54.2%、新梢葉47.8%、果実92.7%の多発条件において、新防除

図3 県予察団(殺菌剤無散布)の新梢葉の発病率

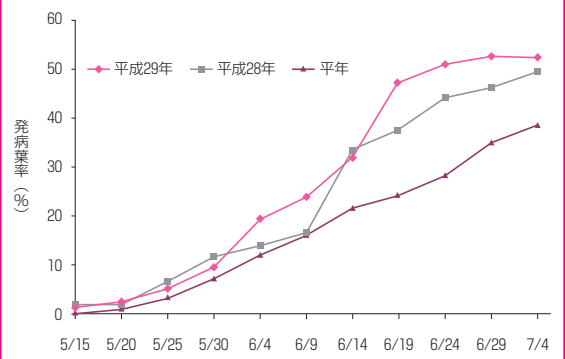


図4

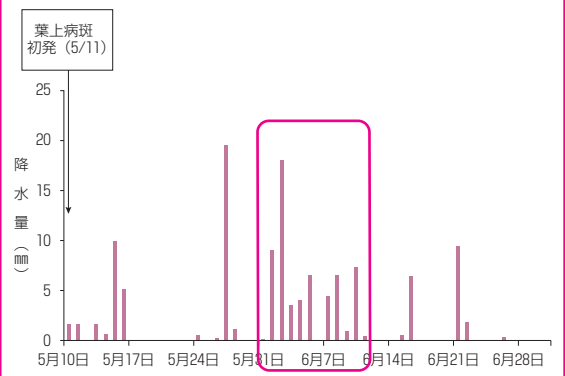


表3 新梢葉における発病率の推移

品種ふじ、新梢発病率		5月		6月		7月	
調査園地	調査月日	発病率 (%)		調査月日	発病率 (%)	調査月日	発病率 (%)
弘前市大川1	5月26日	1.4				7月21日	8.5
弘前市種市2	5月17日	0		6月13日	0.4	7月18日	14.5
青森市浪岡吉内1	5月23日	0				7月21日	12.5
青森市浪岡樽沢2	5月23日	4.4				7月21日	35.4
弘前市大川2	5月26日	0.6		6月13日	0.7	7月21日	3.0
平川市八幡崎	5月31日	5.4				7月21日	7.4
大鰐町森山				6月13日	6.5	7月21日	17.7
弘前市大川3				6月13日	7.0	7月21日	27.9
青森市浪岡吉野田				6月22日	5.4	7月21日	11.6

体系は果そう葉と新梢葉、果実の被害率が旧防除体系よりはるかに低く10%以下にとどまっていた。このことから、本年のように黒星病の菌密度が高く、感染に好適条件の中にあつて、新防除体系は旧防除体系(E・B・I剤利用)に比べて効果はかなり高く、昨年よりも発生を低く抑えられていたこと

二次感染

から、今後、E・B・I剤利用の旧防除体系は期待できない状況だ。

—6月下旬以降は分生子による二次感染で新梢先端部の葉と果実に発病—

黒星病は、春先に飛散した子の胞子による感染(一次感染)で

耐性菌を含む菌密度が高い中で

新防除体系の効果は高かった

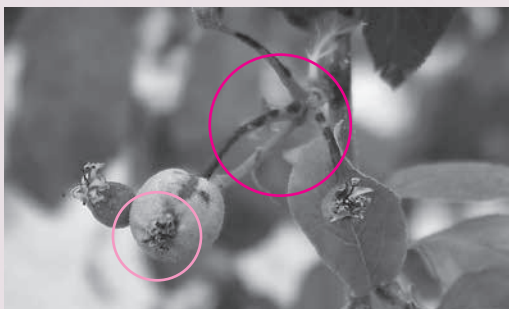
葉の裏表に病斑を形成すると、そこに多量の分生子を生じ、これが飛散して二次感染源となる。感染には、降雨が関係している。県予察団における黒星病の発病率の推移(図3)をみると、6月中旬頃までは平年並みくやや高めに推移し、それ以降は急激に高まった。本病が感染から発病までに10日〜2週間程度要することから、図4のように6月上旬の連続した降雨により二次感染が拡がったと推察され、6月下旬に新梢の先端部や果実に発病が目立つようになった。

表3が5月〜7月にかけての「ふ

観察の要点



葉では最初、直径数ミリ、周囲不鮮明の緑褐色の小斑点として現れ、かすかにすす状を呈する。その後、病斑は拡大。



ツル、がくあ部周辺の感染にも注意。秋の果実感染については、ツル元や肩に多く発病。

じ」の新梢葉発病率（全葉）を示したものである。これを見ると、5月～6月までは各園地とも発病を低く抑えていたものの、7月に入ると多くの園地で発病率が高まっている。特に、5月～6月の調査に比較して、新梢葉や果実に発病がみられ、その中でも新梢先端部付近の連続した葉に病斑が多数形成していた。これは、果そう葉や新梢基部の病斑上に形成された分生子により生じたものである。いずれの園地においても被害果実は摘果処理しているものの、被害葉は摘み取りせず、そのまま残っていた。また、摘果果実の多くで

防除の鍵とは

―耕種的防除で病原菌の密度を減らす―

菌密度が高い中、薬剤だけでは感染を完全に抑えることはできないことから、感染した葉や果実の摘み取りは必須である。また、摘み取ったものについては、集めて焼却及び土中に埋めることが求められている。

適期・適量散布を徹底することは基より、被害落葉や被害葉、被害果を減らすことが最も効果的であり、薬剤防除だけで完全に抑え

ることはできないものと考えていただきたい。

今後の対策

表4は本年度に実施した落葉処理の事例である。これを見ると落葉を鋤込みしたり、収集して園内から除去することによって無処理に比べて明らかに果そう葉や新梢葉の発病率は減少している。病原菌は越冬し、翌年の発生に確実に結びつくことから、このような耕種的防除を実施した上で、薬剤散布を行なうことが最も効果的といえる。

薬剤防除については次年度も本

年同様、適期適量の散布に努めるとともに、気象条件に注意して降雨前の散布を徹底することが極めて重要だ。

いずれにせよ、次年度も菌密度が高いことが予想されることから、被害葉・果実の摘み取りと落葉処理など耕種的防除と最重点防除時期である「開花直前」から「落花20日後」まで薬剤散布の徹底により、春先の第一次感染を防止することを優先的に考えなければならない。

表4 落葉処理事例

調査月日	調査園地	区	果そう葉			新梢葉		
			調査葉数	発病葉数	発病率(%)	調査葉数	発病葉数	発病率(%)
6月13日	藤崎町白子	鋤込み	190	0	0.0	460	8	1.7
		無処理	198	2	1.0	481	13	2.7
6月13日	弘前市大川2	落葉処理	205	5	2.4	452	3	0.7
5月26日	弘前市大川1	無処理	251	12	4.8	353	5	1.4
6月13日	弘前市大川3	無処理	203	48	23.6	443	31	7.0



土中への鋤込みなど、耕種的防除も重要

弘前市では、下記の補助事業を行なっています。ぜひご活用してみたいはいかがでしょうか。

平成29年度 弘前市農作業支援雇用対策事業のご案内 (スマイルアップ・ル モデル事業)

【補助の要件】

- ①無料職業紹介所（ＪＡ相馬村、ハローワークなど）を通して作業員を新採用すること
- ②新採用の作業員は満70歳以下であること

◆ご注意ください◆

これまで本事業を利用して雇用した作業員は補助対象になりません。
申請時に作業員の「住所・生年月日」が必要になります。作業員から確認してください。

【対象となる経費】

- ①摘果、②袋かけ、③袋はぎ、④葉取り玉回し、⑤収穫 の5作業
1作業につき5日間まで（5作業×5日間＝最大25日分が対象です）

◆ご注意ください◆

作業員からは必ず領収証（ハンコを押したもの）をもらってください。
市販の領収証でも、下表②『作業員個別表』の中にある領収証を使っても、どちらでも構いません。
※賃金を口座払いした場合でも、領収証は必要です。

【補助金額】

日当額の1/2で、1日あたり上限が3千円です

例：1日あたり賃金
5,000円の場合は【補助金額2,500円】
6,000円の場合は【 // 3,000円】
7,000円の場合は【 // 3,000円】です。

【申請に必要なもの】

雇用が終わったら、以下のものをりんご課にお持ちください。

①『実施申込書』	} りんご課に用意しています。 ご連絡いただければ、郵送します。
②『作業員個別表』 ◆作業員の人数分必要です	
③『領収証』のコピー ◆作業員の人数分必要です	②『作業員個別表』の中にある領収証を使っても構いません。 ※領収証の原本は申告時に必要となりますので、各自で保管してください。りんご課にはコピーをお持ちください。
④『紹介状』または『雇用契約書』 のコピー ◆作業員の人数分必要です	ハローワークやＪＡで発行するもののコピーをお持ちください。
⑤印鑑	認印で構いません（シャチハタは不可）。
⑥申請者名義の通帳	
⑦作業員の免許証、保険証等のコピー	作業員の住所が市外の場合のみ必要です。

・後日、申請者及び作業員を対象に雇用に関するアンケートを実施する予定です。

【申請締め切り】

平成30年1月31日（水）です

弘前市農林部りんご課（市役所前川本館3階）
電話 40-7105 FAX 38-5870

直売所「林檎の森」

直売所 澤田 翔



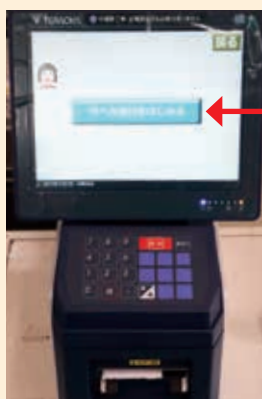
バーコード作成がセルフに タッチパネルで音声ガイドも

会員へお知らせ

直売所「林檎の森」では、セルフ式のバーコードを作成する機械を導入しました。音声案内付きでタッチパネルとなつていて、操作方法も非常に簡単な仕様となっております。

今回は、この新しく導入した機械の使い方を簡単に説明したいと思います。また、不明な点については、直売所にてスタッフが詳しく対応いたします。

押してスタート

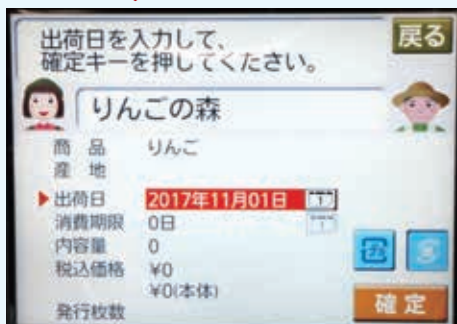


自分の名前を探してタッチする。または、カナ検索で名前を入力。



作りたいバーコードの商品名を選択。

画面にタッチして選ぶだけ！



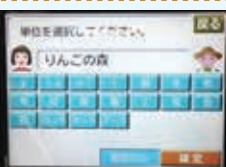
商品～発行枚数まで入力したら、包装資材を選択して**確定**。



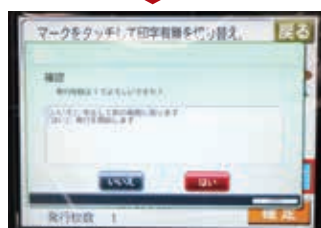
・ **産地** を選んで選択。



・ **出荷日**、**消費期限** を選択。



・ **内容量**、**税込価格**、**発行枚数** を入力。
※内容量については単位も選択する。



発行枚数を確認したら

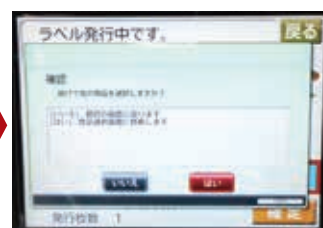
はい



発行



バーコードが
出てくる



終了！

果実販売動向

販売課 米澤 松太



10月の果実動向は数量増の単価
安で推移しました。ミカンにつ
ては、極早生が始めから食味の
問題と潤沢な出回りから厳しい販
売が続く、加えて中旬以降は降雨
の影響による品質低下も散見され
たことから、終了まで厳しい販売
が続きました。柿についても、豊
作基調で推移したことから、値ご
ろ価格で売り場を拡張しましたが、
食味の問題による末端消費の不振
や降雨による品質低下から市場滞
荷が多く、厳しい販売となりました。
た。果実全般に潤沢な流通量のな
か、安値基調の野菜を中心に特売
が組まれていることから、比較的
単価の高い果実は荷動きの鈍い状
況が続きました。

リンゴについては、各県さまざ
まな中生種が出揃う中に於いて、
数量・品質・食味が安定している
早生ふじが主力のアイテムとな
り、中玉以上については大きな値

崩れもなく推移しましたが、小玉
果については比率が高いことから
低迷し、平均価格を下押しする要
因となりました。トキについては
台湾を中心とする輸出向けへの引
き合いが強いことから、9月中旬
より出荷されましたが、46玉を中
心に荷動きが鈍く、また、米国産
の輸入が遅れていることから早生
ふじも輸出されましたが、同様
に小玉果を中心に荷動きが鈍い状
況となりました。競合果実が潤沢に
流通し低迷しているなか、リンゴ
総体の売場は大きくありませんで
したが、海外向けが多いことから
国内流通量が抑制され、比較的相
場は安定している方です。

今後、ミカンについては、極早
生が順次終了し、11月中旬より各
県早生品種が出揃う見込みです
が、降雨の影響による製品化率の
低下や、後半の品種に移行するほ
ど生産量が少ない予想から相場は

安定すると考えられます。柿につ
いても、奈良・和歌山産が台風21
号の影響による減収や品質低下、
品種が更新されることによる総体
量の減少に伴い、相場は安定する
ものと考えられますが売場は縮小
傾向にあります。競合果実が数量
や品質に安定感を欠く中、リンゴ
の売場における占有率は高くなる
ことが予想されますが、リンゴ全
般に小玉傾向や場所によっては隔
年障害がみられることから、大幅
な減収が予想されます。年内は黄
色品種を中心に海外企画、「飛馬
ふじ」「みつまるくん」を中心に
国内ギフト企画、年明けは春節向
け輸出企画に加え、小玉の企画を
積極的に取り組み、相場の底上げ
とします。



全農あおもりデータ・11/24累計

品 種	サンジョナ	早生ふじ	きおう	ト キ	つがる	その他	計
単 価 (円)	2,870	2,857	2,387	2,558	2,353	2,706	2,530
前 年 比 (%)	86	87	97	90	91	91	90
数 量 (箱/10kg)	1,372	574,079	137,066	156,448	1,089,465	115,991	2,074,421
前 年 比 (%)	78	96	93	130	106	84	102

地域おこし協力隊 活動記 Vol.30



相馬地区地域おこし協力隊の米山です。

11/4(土)・5(日)に、相馬登山囃子保存会により、関東地方で実施された「相馬地区りんごPR事業」にご同行させていただきましたので、その様子をお伝えします！

11/4(土)は、埼玉県北本市で開催された『北本まつり「宵まつり」』へ。北本まつりでのねぶた運行は、1991年の弘前訪問がきっかけとなり、1994年から北本ねぶたとして制作や運行が行われてきたという歴史を持ちます。

相馬登山囃子保存会では、地元北本の運行団体さまとご一緒しながら大勢の観客のみなさまへりんごをお渡ししたり、ねぶた囃子を披露したりして相馬のりんごや地区をPRしてきましたが、大好評をいただきましたながら存分にPRできたと思います！



翌日11/5(日)は、千葉県佐倉市の西志津を拠点に活躍中の「西志津お囃子友の会」さまの『15周年記念コンサート』へ。2015年に佐倉市市民文化資産初の芸術文化資産として選定されるなど精力的な活動をされており、今回は結成15周年記念の大舞台へ出演させていただきました。

こちらでは相馬のりんごや地区のPRとして、ご来場者に西志津の子どもたちに手伝ってもらいながらりんごをお渡ししたり、登山囃子演奏や佐藤ぶん太さんによるライブを行いました。会場には老若男女を問わず大勢お越しただけたことで、幅広い層にPRできたのではないかと思います！

消費地でのPRは普段触れない消費者との距離を縮めるチャンスですから、今後も積極的に行いたいですね！



上手に出来たかな？



自分でデザインしたリンゴが笑顔とともに輝く

10月19日、相馬小学校3年生27名が授業の一環としてリンゴ収穫体験を行なった。講師は佐久間康幸JA相馬村青年部長が務め、収穫補助として多くの青年部員も駆け付けた。

相馬小の児童らは春先からリンゴ栽培について体験学習し、9月末に自分でデザインしたシールを「ふじ」に貼り付け、文字入りリンゴの収穫を楽しみにしていた。相馬小創立40周年にちなんでシールを作成した溝江流生くんは、「シワなく綺麗に仕上がった。」と笑みを浮かべた。



有袋ふじの登録園地検査を向えたリンゴ生産者ら

10月12日から2日間、当JA管内でベトナム向け輸出リンゴの晩生種園地検査が行われた。

今年から始まるベトナム向けの出荷については、中生種のほかに「ふじ」と「金星」が輸出される見込みとなっており、この日で今年度の病害虫を対象とした園地検査は全て終了した。また、収穫後はフルーツステーションで選果され、さらに梱包施設での検査を行い出荷される予定だ。

JA SOUMA TOPICS

主力品種の「ふじ」などが収穫のピークを迎え、フルーツステーションも繁忙期に突入！

昼の寒暖差で

美味しいリンゴが実った相馬管内！

注目のトピックスはコレだ！

相馬小3年生リンゴ収穫体験

最高の出来栄に笑顔溢れる

JA相馬村青年部が大活躍

晩生種登録園地防疫官検査

ベトナム向け輸出リンゴ

今年度の園地検査無事終了

29年産「青天の霹靂」初検査

検査員が自信を持って

全量一等米に格付け

10月10日、当J Aライスセンターで29年産「青天の霹靂」の初検査が行われた。当日は当J Aの農産物検査員によって各フレコンバックから抽出された内の20gを一粒ずつ慎重に検査していた。

今年は、ライスロマンクラブによってカメムシ防除の空中散布が行われたことにより被害粒も少なく、今回検査されたものは全量が無事一等米となった。



一粒ずつ整粒を見分ける検査員



一等米の検査証明が輝く

あいさつの大切さ呼び掛け

当J A本所入口に展示

10月6日から、当J A本所入口に相馬小学校の児童が描いた「あいさつ運動」のポスターが色鮮やかに展示された。

このポスターは、児童が夏休みに一生懸命描いたもので、来協するお客様を明るく迎え入れていた。自分色に輝く児童の優秀作品は、見る人も笑顔にさせる素晴らしいものばかり。来協するお客様はポスターを横目にあいさつの大切さを実感していた。



相小生の入賞作品10点が明るく「おもてなし」

十五夜に獅子が舞う

紙漉沢獅子舞保存会

10月4日、紙漉沢獅子舞保存会は紙漉沢公民館「紙漉の里」で獅子舞の奉納を行った。

この日は、獅子舞を一目見ようと多くの親子連れが訪れ、見事に舞う獅子の姿に観客は魅了されていた。また、獅子舞が人の頭を噛むことによって悪魔祓いや疫病退治の意味があることから、子どもたちがご利益を貰おうと頭を噛まれる姿が多く見受けられた。



迫力ある獅子に子どもが驚く場面も…

農協役員室で——ネズミ盗聴器

元県農協学園長

秋田 義信



「油売り」と洞^{ほら}一が農協の役員室に来ている。

油売り「組合長！ ワ（吾）弘前の図書館へ行って勉強して来たジャ」

組合長「それ以上、モノ覚えれば、オツカネな——」

油売り「ナンモヤ。図書館に、昭和二年現在の「青森県総覧」というものがあつたので、「相馬村」という所を開いてみたら、あつた、あつた」

洞一「ナニよ」

油売り「例えば、そのときの村の主^{おも}達衆のことか」

洞一「オレの自家の名前、出ているか」

油売り「ソヘバ、写してきたものを読むよ……村長は成田重雄、助役が成田左衛門次郎、収入役が田沢才吉」

洞一「ウーン、オレエの自家もか。村会議員は？」

油売り「沢田善助、山内こ之助、田沢文太郎、山内与右衛門、成田

末吉、大塙幸太郎、中沢豊吉、成田久太郎、中沢清十郎、佐藤若吉、中島佐一。所得税は……順番から言

えば、成田

重雄、成田

藤吉、中沢

豊吉、大塙

徳次郎、田

中才太郎、

大塙久吉、

というところ

ろだ……家屋

勢となると

中沢豊吉、

成田藤吉、

中沢清十郎、

三上健三

郎、山内勝

実、田沢要

助、田中才

太郎という

ところだ」

組合長「成

田マギと中

沢マギが上

位であつたのだナ——」

油売り「中弘一番の地主は船沢の高谷家ですな——」

組合長「弘前の時敏小学校の東に「高谷別邸」があつたよ。洋館の——」

協同の原理
その一つは
毛利家の
王本の方矢
なり
東大教授 川野重仁
秋田義信書

冬の貯めトクキャンペーン

TameToku Winter Campaign

平成29年11月1日^水
～
平成30年1月31日^水



貯めトク定期

10万円以上の新規・増額でのお預入れ

お預入れ時に以下の取引のうち、いずれかのご契約がある方（新規お申し込みも可）

JAカード 給与振込 年金振込予約 年金振込 農産物販売代金振込 個人ネットバンク

ご契約期間 1年 店頭表示金利 + 年0.1% 上乗せ

上記に該当しない方 店頭表示金利 + 年0.05% 上乗せ

本所 TEL 0172-84-3215

湯口支所 TEL 0172-84-2470

相馬支所 TEL 0172-84-2534

JAバンク青森

編集部をつぶやき～編集後記～

最近、相馬管内ではクマの被害が目立ちますね。クマも本当に怖い獣ですが、イノシシも北上しているとのこと。意外にも驚いたことは、イノシシの体長が1.8mもあること。農産物に被害を及ぼすことは残念ですが、猟友会の後継者不足も深刻化しているのが現状です。若い世代が積極的に猟銃の免許取得をしてほしいと感じているのが本心であります。免許取得にあたっては、ほぼ補助金で賄えることから魅力的となっています。被害軽減のためにも、取り組みを強化する必要は大いにありますね。また、鳥獣被害を防ぐために様々な講習会が開かれていることはご存知でしょうか。受講することで、箱ワナやロケット花火の提供を無料でしてもらえるほか、被害を及ぼす動物の生態までもが学べるのです。是非、受講してみたいかがでしょうか。不明な点などございましたら、農業振興課までどうぞ。

(S.daijiy)

防寒テムレス

やわらかい
“ボア” タイプの
裏起毛。
寒くても柔らかい！

¥1,296 (税込)



購読課

オススメ
商品

十一月の川柳



中の蜜

見えそうに成って 香も高く

喜びを

満載して入庫 急ピッチ

鈴成りを

挽き終えよる 枝ご苦労さん

(田沢 勝衛)

理事会だより

10月19日 (木)

- 1) 9月末残高試算表について
- 2) 組合員の脱退について
- 3) 直売所りんご祭り開催要領について
- 4) 平成30年用春肥料・りんご袋取扱要領について
- 5) 平成28年度JAバンク財務モニタリングについて
- 6) 振込規定の一部改正について
- 7) 「JA相馬村冬期貯金キャンペーン2017」実施要領について
- 8) JA自然災害損害調査員設置要領
- 9) 貸付関係について
- 10) 不良債権四半期報告について
- 11) りんご販売関係について
- 12) 固定資産の取得について

今月のあなたの運勢 ★ 11月 ★

モナ・オサンドラ



♈ 牡羊座 ★ 3/21 ~ 4/19

全体運

行動力が高まり、アクティブに動き回れそう。やりたいことには積極的に挑戦を。ネットでの情報収集も幸運

健康運

疲れのため込みがち。適度な休息が必要

幸運を呼ぶ食べ物

水菜

♉ 牡牛座 ★ 4/20 ~ 5/20

全体運

暗い気分になりやすいかも。気晴らしを心掛けて、好きなことに意識を向けましょう。ヒーリンググッズも有効

健康運

オーバーワークに注意。のんびりが大事

幸運を呼ぶ食べ物

クワイ

♊ 双子座 ★ 5/21 ~ 6/21

全体運

ささいなこと、つまずきやすい時期。小さなミスにクヨクヨせず、スパッと切り替えて。ギャラリー巡りにツキ

健康運

きちんと自己管理を。食べ過ぎは控えて

幸運を呼ぶ食べ物

ミカン

♊ 蟹座 ★ 6/22 ~ 7/22

全体運

情緒不安定になりがち。身近な人たちに迷惑を掛けがちなので、気を付けて。玄関に花を飾るとリラックス可能

健康運

気が緩みやすいかも。小さなけがに注意

幸運を呼ぶ食べ物

キンメダイ

♌ 獅子座 ★ 7/23 ~ 8/22

全体運

レジャー運が活性化。気の合う仲間たちとにぎやかに過ごせそう。遠出のドライブやイベントへの参加も好結果に

健康運

健康の話題に注目を。好情報があるかも

幸運を呼ぶ食べ物

小松菜

♍ 乙女座 ★ 8/23 ~ 9/22

全体運

ちょっとしたことでイライラしやすい傾向あり。笑顔忘れずに。ストレス解消には、1人の時間を満喫して

健康運

まめに動くとお変化が。散歩もお勧め

幸運を呼ぶ食べ物

レンコン

♎ 天秤座 ★ 9/23 ~ 10/23

全体運

フットワークが軽くなり、チャレンジ精神が旺盛になる月。行動範囲を広げていけば、うれしい驚きに出会えそう

健康運

スポーツを始めて。気分転換にも効果的

幸運を呼ぶ食べ物

サバ

♏ 蠍座 ★ 10/24 ~ 11/22

全体運

ゆったり過ごせる期間です。趣味や習い事に力を注ぐと、新たな発見があるはず。プライベートを充実させて

健康運

質の高い眠りを目指せば、体調アップへ

幸運を呼ぶ食べ物

ダイコン

♐ 射手座 ★ 11/23 ~ 12/21

全体運

自分に自信が持てそう。意見やアイデアがあるなら意欲的に主張して。過去に駄目だったことに新たな変化が

健康運

不規則な生活習慣を見直せば、恩恵多し

幸運を呼ぶ食べ物

長ネギ

♑ 山羊座 ★ 12/22 ~ 1/19

全体運

インスピレーションがさえているので、ピンときたことはやってみるのが正解。人間関係は協調性をモットーに

健康運

回復へ。マッサージで血行を促進させて

幸運を呼ぶ食べ物

タラコ

♒ 水瓶座 ★ 1/20 ~ 2/18

全体運

知的好奇心を刺激される予感。体験教室や説明会に顔を出してみると手応えあり。趣味の集まりにも積極参加を

健康運

リラックスすれば好調をキープできます

幸運を呼ぶ食べ物

ヒラメ

♓ 魚座 ★ 2/19 ~ 3/20

全体運

何かとプレッシャーを感じる気配。深呼吸で気持ちを落ち着けましょう。また、人の意見には謙虚に耳を傾けて

健康運

徐々に好転。体にいいことをすると◎

幸運を呼ぶ食べ物

野沢菜



特選の早生ふじ出荷



徹底した品質管理



海外パレットに巻く



鏡面扉が輝く



(株弘南運輸の佐藤さん(46歳)が台湾向けリンゴを運ぶ！

ひとときわ輝くパートナー
「おうぼのリンゴ」どきどき行く編」



ナンバーフレームがgood



荷台に社名が轟く



メッキがインパクト大



最新のLEDテール

29年産リンゴも本格化し、10月上旬には「早生ふじ」の入庫がピークを迎えた。糖度が高く、酸味が少ない特徴の早生ふじを運ぶのは、(株)弘南運輸のドライバー佐藤さん。当JAで徹底した品質管理が行われたあと、1パレット当たり48ケースのアイスBOXが巻き返され、計17パレットの816ケース積み込まれた。行先は台湾へ輸出されることから、東京湾に位置する東海海運(株)だ。ここで海上コンテナに移されたあと、大きな船で台湾へ。近年、リンゴが高値となっている背景には、海外への輸出が大きく関係している。また、台湾は最大のリンゴ輸出国となっており販売戦略の一つとして欠かせない存在である。輸出が始まった当初は、高級果実として世界一や陸奥、有袋ふじの大玉が中心に行われてきたものの、近年では地元スーパーマーケットを中心に食味の良い品種が輸出に増えてきているのが現状である。このことから、海外への販路拡大により国内需要のバランスが上手く取れている。価格についても国内消費から輸出にシフトしたことで安定している傾向にある。

魅力
Part 2

農業振興課
広報担当
齊藤 大貴

JA相馬村広報

林檎の森

2017.11 Vol.424

- 発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497
- 編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp
- 発行日
2017年11月15日

JA 相馬村概況

〈平成 29 年 10 月末日現在〉

組合員数	878 人
(うち准組合員数)	357 人
出 資 金	638,860 千円
貯 金 額	8,987,893 千円
共済保有高	3,539,895 万円